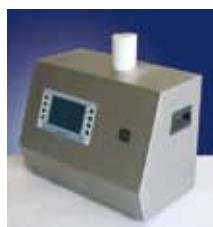
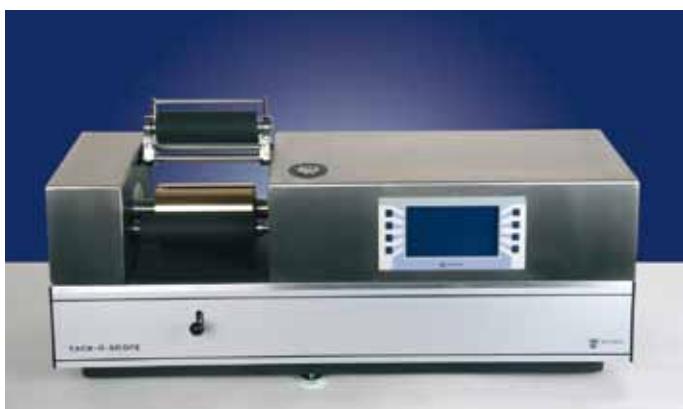


タック・オー・スコープ (Tack-O-Scope)

この装置は、1959年にRudolph Meijer（ルドルフ・メイヤー）印刷インキ工場にて開発され、長きに渡ってタック測定の標準器として扱われてきました。1986年、テストプリント社は、モデルWという新しいバージョンのタック・オー・スコープを開発しました。これは、オフセットインキのタック値に湿し水がどのような影響を与えるかを決定づけることができる機能があります。マニュアルオペレーションが可能ではあっても、測定シーケンスをプログラミングされたPCコントロールバージョンでは、専用のソフトウェアによって自動的に結果を保存・比較することができます。



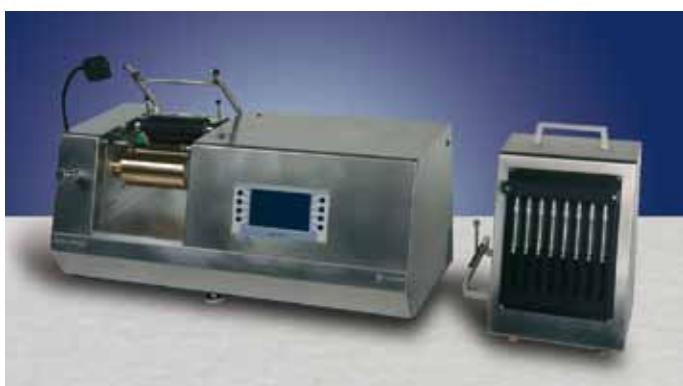
CPスコープ (CP-Scope)

テストプリント社では、高度なクラウドポイントテスター「CPスコープ」を開発しました。ステンレス製のハウジングは、清掃し易い形状になっており、耐ケミカル性ディスプレー、簡単な操作のインターフェイスとソフトウェアを備えています。また、オプションも豊富に揃えています。温度、攪拌速度、クラウドネスレベルなど測定に必要な条件は、プログラムされています。温度は、ワイヤレスPT100センサーで測定します。その装置は、外付けプリンターで測定結果をプリントアウトすることができます。

ハイドロスコープ (Hydro-Scope)

この装置は、インキと水のバランス及び乳化状況を測定することができます。乳化速度、湿し水の量、粘度に関連した飽和ポイントでのタック値など多くの変動状況をチェックすることができます。

この機器は、とても操作が簡単です。また、インターフェイス接続もシンプルです。専用のソフトウェアは、エクセルへのデータ保存が可能で、多くの測定データを比較測定することができます。測定試験は、全自动方式です。



ヒートセットドライヤー (Heatset-Dryer)

この装置は、実機に近い乾燥温度・条件を再現できます。同一の温度と速度条件での乾燥後、試験結果を比較評価することができます。機器内部にある新設計のヒートエレメントでは、特殊なテクノロジー「拡散装置」を採用しており、試験用印刷紙の表面に対して非常に均一に熱処理ができます。これに加え、マイクロプロセッサーが、コンスタントに温度及びシステムをモニターしています。また、オプション装置として、熱処理をした直後の紙の表面温度を測定する機能があります。



カリブレーションキット (Calibration Kit)

このキットには、タック・オー・スコープのカリブレーションに必要な全てが揃っています。これらのツールは、メンテナンス時に弊社のスペシャリストが使用しますが、機器を熟知されたユーザー様も、もちろん使用することができます。セットには特別なキーが含まれており、シリンダーの重量・潤滑



オイルなどを測定できます。

リソスコープ (Litho-Scope)

この装置では、印刷工程において、インキと湿し水のコンビネーションによる作用を調査することができます。具体的には、印刷工程上、印刷プレートを清潔に維持するために必要な湿し水量を測定します。

この測定試験では、湿し水装置での、インキと湿し水の使用量について正確なカーブを描くことができます。この装置は、タック・オー・スコープのように標準的なタック値測定機能への拡張性がありますので、機器を過分に所有する必要がありません。



IGT グロスメーター

IGTでは、以下の3種類のグロスメーターを用意しています

IGT グロスメーター G60

IGT グロスメーターG75

IGT グロスメーターG268

この3種類のグロスメーターは、コンパクトサイズで、あらゆる規模の印刷業界で役立つよう設計されています。

IGTグロスメーターG60は、60°アングルで測定します。そし



て、ISO2813
、ASTM D2457,
ASTM D523に準
拠しています。IGT
グロスメーターG75
は、ISO12647に準
拠しており、75°ア
ングルで測定、紙・板
紙の光沢（グロス）
測定に使用されま

す。TAPPI T480 om -2009、ISO 8254-1に準拠しています。GTグロスメーターG268は、20/60/85°の3つのアングルで測定することができ、ISO2813、ASTM D523、ASTM D2457に準拠しています。

これらのグロスメーターは、ホルダー内にカリブレーション装置がセットされています。

IGT コブテスター（コブ計・コブアンガー式）

IGTコブテスターは、予め定められた時間内に正確に、紙・板紙・段ボール紙への、水・水溶液・オイル・ワニス・および他の液体の吸収性を測定する装置です。Scan P-37・ISO535・77Scan P12・Tappi441・Fefco nr7に準拠しています。

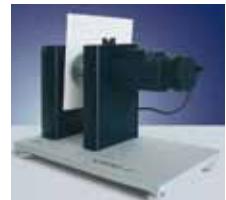
コブ計には、目的に応じた4つのタイプがあります：

- SFT03tシリーズ：**紙と薄い板紙のような薄い試験材（被印刷物など）を測定する標準タイプです。特別バージョンは非常に軽い作りの紙（例ティッシュなど）に利用可能で、紙・板紙にも使用できます。
- SFT 03twシリーズ：**厚み15mmまでの紙や段ボール向けの装置です。
- SFT 03tgシリーズ：**厚み22mmまでの石こうボードや工事用パネルなどを測定できる装置です。
- SFT 03pkteシリーズ：**標準装置（SFT03tシリーズ）に液体が試験材を通り抜けるまで吸収曲線を測定するオプションが追加された装置です。



IGT VDM - ティッシュ・フリース・繊維用厚み測定装置

これらの装置では、フリース材・紙・プラスチック製品の計量開発に使用されます。DIN EN ISO 9073-2 pt. 5.2、EDANA 30.5-99 pt. 4.2に準拠しています。標準化された垂直な測定システムはプレッシャー・プレートと基準面があるデジタルマイクロメータから構成されています。これは圧力と基準面がお互いの平行な位置で規定圧力を下回っていると、直ちに信号を作り出す電子測定装置に接続されます。プレッシャー・プレートが0,020キロパスカルの測定圧力をテストの材料と測定に練習するこの方法を始めることができます。ユニットは、試験報告書の作成およびユーザーをサポートするため、PCに接続できます。測定完了後、統計値の計算を通じて、ユーザーは、直ちにその数値を受け入れるか、リジェクトするかを決めることができます。試験報告書への自動データ送付機能は、誤計算を避けることができます。したがって、ソフトウェアは連続的測定に特に適しています。



IGT ラレービスコメーター（粘度系）

Laray Viscometerは、ISO12644・DIN53222に準拠したロッド落下の法則に従った方法で、特にワニス、高い粘度のオイル、および粘度2-200Pa.s間の印刷用インキなど粘着性物質の年度を測定するよう

に設計されています。ラレーは、ロッドに加えられる重量（負荷）によって、測定材の薄膜がロッドとカラー（シリンダー）間で分離される際の落下速度を測定します。この落下速度は、測定材料の粘度によって変化します。落下時間は異なる錘で調整できます。この装置は、100mmの距離間の2ポイントのロッド落下速度を測定します。ロッドおよびカラー（シリンダー）は、恒温水槽によって温度管理されます。この装置には、50/100/200/500gの錘が標準装備されており、100-1000gの間で50g単位でオプションを用意しています。IGTラレービスコメーターはPCデータ転送と粘度計算ソフトウェアが付属されています。

IGT コンパクトUV 照射装置

コンパクトタイプのIGT UV照射装置は、UVインキなどを試験印刷された平らな試験材（紙・プラスチック・セラミック・ガラス・金属）へのUV照射用に設計されています。印刷業界では、コンパクトなUV装置は、プレプレス部門でカラーマッチングのためのテスト印刷時にUV照射するのに使用されます。また、この装置は、インキ製造とケミカル関連サプライヤーの研究開発ラボ室でも使用されています。この装置は、ベルトコンベア速度、ランプ出力調整が可能、また、ランプの交換も可能です。試験材上では、実機に近い再現性の高い方法で照射がコントロールされます。IGTコンパクトUV照射機とIGTコンパクトミニの2つのタイプがあります。IGTコンパクトUVにはランプ出力調整と室外への排気ダクト装着が可能です。

